

木根尚登 Naoto Kine (TMネットワーク)

→ <http://www.kinenaoto.com/>

1957年9月26日東京都生まれ

1984年小室哲哉、宇都宮隆と共にTM NETWORKとしてデビューし「Get Wild」で一躍ブレイク。1994年、東京ドーム2日間で10万人を動員。

2014年には30周年を迎え、全国ツアーを展開。

ソロとしても今年25周年を迎えた。また1989年にはファンタジー小説「CAROL」で小説家デビューをし40万部のベストセラーとなる。現在まで著書 30冊を出版。

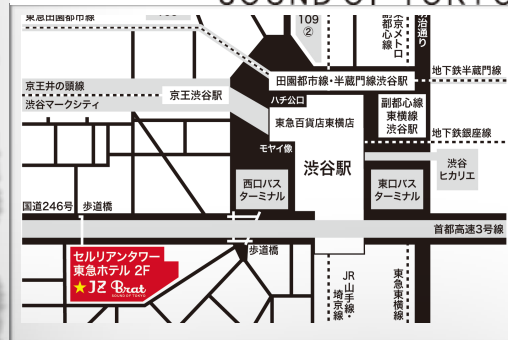
最近ではミュージカル、舞台、バラエティー番組にも出演。

またユニット「劇団こどもみかん」を立ち上げ

2017年2月旗揚げ公演開催。

JZ Brat

SOUND OF TOKYO



souichi ソウイチ シンガーソングライター

→ souichi.net

スポーツDJ MC 光GENJIコンサートツアーダンサーやミュージカル俳優という異色の経歴を持ち CHEMISTRY、EXILE ATSUSHIなどを発掘した伝説のオーディション番組『ASAYAN』超男子ボーカルオーディションで2万人の中から32名に選出された経歴を持つアーティスト。現在はその声を活かしFリーグ ペスカドーラ町田のアリーナDJをはじめ Football、RUN、ボルトリングなど幅広いスポーツでMC実況を務めながら歌い続けている。

Steve Eto スティーヴ・エトウ 重金属打楽器奏者

→ <http://www.steve.vc>

1958年L.A.生まれ。父は箏曲家 故・衛藤公雄。弟は和太鼓奏者のレナード衛藤。1964年初来日？80年代よりバンド活動を始め、爆風銃（バップガン）、PINK、PUGSなどのバンドで活躍。演奏家としては小泉今日子のデビューツアーから始まり藤井フミヤ、大黒摩季、及川光博、COMPLEX、布袋寅泰、堂本剛などさまざまなアーティストをサポート。20年を超えて活動するバンド、デミセミクエバーを継続させつつ、各地でのソロ・ライブも活発。

この十余年は奄美群島にただならぬ縁を感じ、ハブ皮の工芸品店 原ハブ屋奄美 公認はぶ大使として各地で奄美に関わるイベントなどを立ち上げたり、出身アーティストとのコラボなどを行なっている。

ただし、けしてハブの全国普及につとめているわけではない。

2015年より奈良在住。

一ノ宮頼子 Yoriko Ichinomiya

→ ichinomiayoriko.com

所属レーベル MIDI Creative: <http://midiinc.com>

無類の旅好き酒好き本好き料理好き。それ以外の時間はピアノ弾いて歌ってる。横浜出身元ア東京 在住スリートの早稲田大学卒。

3歳からピアノとバレエを 6歳から作曲をはじめ。JOCなどの作曲コンクールに出場し 音楽漬けの子供時代を過ごす。その反動でサッカー選手に。12歳から6年間 日テレベレーザに所属。鼻骨骨折や疲労骨折を経て強くなる。東日本代表選手になるも 大学進学のためサッカー断念・引退。その後は踊りの道へ。バレエ・ジャズ・モダンのダンスに没頭。大学を休学をして渡米。NY4年間を含む日米往復の修行生活を送り 完全帰国後インストラクターや振付師としても活動。

大学時代からモデルとしてCMやショーで活躍。

ダンスの修行で東京とNYを行き来していた1999年 Sony Music Artists全国オーディションにて 何故か12000人の中から選ばれ 人生のツキをすべて使い果たす。アーティスト名 「Daija」 名義で Maxi Single『媚薬』 / 1st Album『chaos』（MIDI Creative）を発表。テレビやラジオのレギュラー番組やCMに数多く出演。

その後 北米放浪中にアイスホッケーと出会い夢中になる。音楽活動を休止し 日本女子最高峰リーグでプレーするために北海道・帯広に移住。ジャズダンスインストラクターとFM JAGAでのパーソナリティ活動と並行してアスリート生活を送る。

インラインホッケー世界選手権・北米選手権に日本代表として5年間連続出場。キャプテン歴も長い。

Laurent Bronner ローラン・ブロナー 作曲家・ピアニスト

→ laurentbronner.blogspot.com

「プリペアードのピアノを使用し 純粋な悪魔を欲しいままにする センセーショナルなピアニスト」 By Karles Torra, ラ・バングアルディア紙（スペイン・カタロニア地方最大の新聞）

革新的な作品と繊細なタッチで知られる才能あふれる作曲家・ピアニスト。プリペアードを多用しピアノの無限の可能性を探索。パリ国立音楽院卒業。ジャズ科・ハーモニー/対位法/フーガ専攻。ピアニスト・作曲家として参加のクインテット "Five in Orbit" ではこれまでに3枚のアルバムをリリース。2011年にはレーベル "Fresh Sound New Talent" より初リーダー作『Stripes』を発表（日本発売あり）現在パリ・バルセロナを中心にヨーロッパにおいてツアーやフェスなどに参加しつつ ソロ活動にも重きをおく。セカンドソロアルバム準備中。フランス・オルレアン出身。パリ在住。

2008年ホッケーを引退し 本名の「一ノ宮頼子」として音楽活動に戻る。2009年『ひかり』（自主制作）2010年 2nd Album『丹後恋唄』（MIDI Creative）を発表。2012年公開映画『庵治石の味』（片岡秀明監督）にて収録曲「さよならのうた」が主題曲となる。また FM COCOLO・FM立川などでラジオのレギュラー番組を5年間担当。2014・2015年 [ArtFootball] (モスクワ：アーティストのためのワールドカップ) にはサッカー選手/アーティストとして招聘され 大会初の唯一の女子選手として注目を浴びる。同時に ロシア全土へ生中継されたライブも評判となる。現在は都内を中心に 重金属打楽器奏者スティーヴ・エトウ氏とのコラボレーションをメインに活動。その想像力溢れるステージは高評価を受ける。2017年よりパリ在住の新進気鋭のピアニスト ローラン・ブロナー氏とのコラボレーションを始動。唯一無二との呼び声が高いウィスパーヴォイスとジャンルにとらわれない自由な音。類似稀で無国籍な世界観は 国外からのファンも多く集める。